

# 算数解答 2024.04

1	(1)	18	あまり	14	3点 × ( ) 小計 / 21
	(3)	5			
	(5)	182			
	(7)	$2\frac{1}{7}$	$\frac{15}{7}$		
2	(2)	75			3点 × ( ) 小計 / 12
	(4)	6.53			
	(6)	4.2			
	(8)	$1\frac{5}{6}$	$\frac{11}{6}$		

2	(1)	270	個		4点 × ( ) 小計 / 16			
	(2)	ウ	→	ア				
	(3)	$4\frac{4}{9}$	部分数指定					
	(4)	$1\frac{2}{5}$	仮分数指定					
3	(1)	3	完全	→	→	→	イ	4点 × ( ) 小計 / 28
	(2)	5						
	(3)	5						
	(4)	60						

3	(1)	52	度	43	度	3点 × ( ) 小計 / 12
	(2)	12	cm	24	cm	
	(1)	146	cm <sup>2</sup>	8	cm	
	(2)	96	cm <sup>2</sup>	5	数字指定	
4	(1)	点	コ	60	cm	4点 × ( ) 小計 / 28
	(2)	158	cm <sup>2</sup>			
	(1)					
	(2)					

6	(1)	92	人	3点 × ( ) 小計 / 12
	(2)	きん	曜日	
	(3)	4	回	
	(4)	水	完全 曜日で 9 人	
7	(1)	12	人	4点 × ( ) 小計 / 8
	(2)	13	人	

# 解説

1 (2)  $84 - 63 \div 7 = 84 - 9 = 75$

(3)  $6 \times (23 - 8) \div 18 = 6 \times 15 \div 18 = 90 \div 18 = 5$

(7)  $\frac{3}{7} + 1\frac{5}{7} = 1\frac{8}{7} = 2\frac{1}{7}$

(8)  $4 - 2\frac{1}{6} = 3\frac{6}{6} - 2\frac{1}{6} = 1\frac{5}{6}$

2 (1) 0.01が10個で0.1, 0.01が100個で1です。2.7=2+0.7より, 2は0.01が200個, 0.7は0.01が70個だから,  $200 + 70 = 270$ (個)

(2) 一の位から順に数字の大きさをくらべていきます。一の位は6で同じです。

小数第一位はア, ウ, エが2, イが3だから, イが最も大きいです。

小数第二位はアが3, ウが0, エが9だから, ウが最も小さく, 次にア, エの順に大きくなります。

よって, 小さい順にならべると, ウ→ア→エ→イとなります。

(3)  $\frac{1}{9}$ を40個集めた数は $\frac{40}{9}$ です。40÷9=4あまり4より,  $\frac{40}{9} = 4\frac{4}{9}$

(4) 問題の数直線の1目もりは1を5等分しているから $\frac{1}{5}$ を表します。アが表しているのは, 2より2目もり $(\frac{2}{5})$ 大きい数で $2\frac{2}{5}$ です。2 $\frac{2}{5} = \frac{12}{5}$

3 (1)① 向かい合った角の大きさは等しいから, 下の図1で, ㉞=100度です。

よって, ㉞=180-100-28=52(度)

② 平行な直線はほかの直線と等しい角度で交わるから, 等しい角をかきこむと,

下の図2のようになります。よって, ㉜=126-83=43(度)

図1

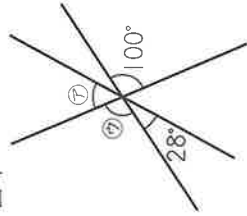
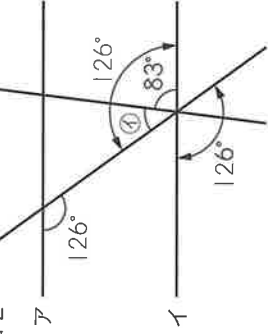


図2



(2)① 平行四辺形アイカオのまわりの長さは38cmだから, アイの長さとおアの長さの和は,  $38 \div 2 = 19$ (cm)

よって, アイの長さ(図の○cm)は,  $19 - 7 = 12$ (cm)

② 四角形アイカオは平行四辺形だから, イカ=アオ=7cm, 四角形アイウエはひし形で, 4つの辺の長さは等しいから, イウ=アエ=エウ=アイ=12cm, よって, オエとカウの長さはそれぞれ,  $12 - 7 = 5$ (cm)

また, 四角形オケクエはひし形だから, オケ=ケク=エク=オエ=5cm,

ケカとクウの長さは, それぞれ,  $12 - 5 = 7$ (cm), 四角形ケカウクのまわりの長さは,  $7 + 5 + 7 + 5 = 24$ (cm)

4 (1) 右の図3で, 小さい正方形アイウエの1辺イウの長

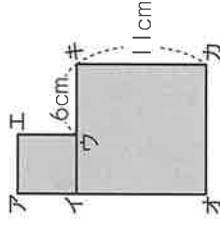


図3

さは,  $11 - 6 = 5$ (cm)だから, 正方形アイウエの面積は,  $5 \times 5 = 25$ (cm<sup>2</sup>), 大きい正方形イオカキの面積は,  $11 \times 11 = 121$ (cm<sup>2</sup>)だから, 求める面積は,  $25 + 121 = 146$ (cm<sup>2</sup>)

(2)① 長方形アイウエの面積は,  $12 \times 18 = 216$ (cm<sup>2</sup>)で, ㉝の長方形の面積は,  $6 \times 4 = 24$ (cm<sup>2</sup>)だから, ㉞と㉟の面積の和は,  $216 - 24 = 192$ (cm<sup>2</sup>)です。㉞と㉟の面積は等しいから, ㉞の面積は,  $192 \div 2 = 96$ (cm<sup>2</sup>)

② 右の図4のように, ㉞の部分を㉚と㉛の

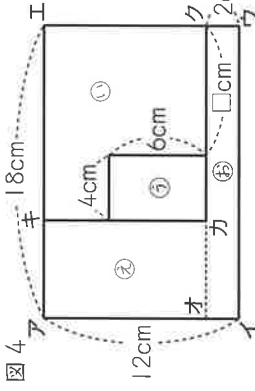


図4

2つの長方形に分けて考えると, ㉚の長

方形の面積は,  $2 \times 18 = 36$ (cm<sup>2</sup>)より, ㉚

の長方形の面積は,  $96 - 36 = 60$ (cm<sup>2</sup>)

です。㉚の面積について, 図のアオの長さ

は,  $12 - 2 = 10$ (cm)だから, オカの長さ

は,  $60 \div 10 = 6$ (cm)です。よって,  $\square = 18 - 6 - 4 = 8$ (cm)

\* 図の長方形キカクエの面積は㉟と㉚の面積の和で,  $96 + 24 = 120$ (cm<sup>2</sup>)

です。長方形キカクエの面積について, キカの長さは,  $12 - 2 = 10$ (cm)

より, カクの長さは,  $120 \div 10 = 12$ (cm), よって,  $\square = 12 - 4 = 8$ (cm)

と求めてもよいです。

- 5 (1)① 下の図5のように、点スと点サ、点セと点コが重なります。  
 ② 展開図を組み立てると、下の図6のようにになります。図5の④の面は、イウエオの面(2の目の面)と向かい合うから、面の目の数字は、 $7-2=5$

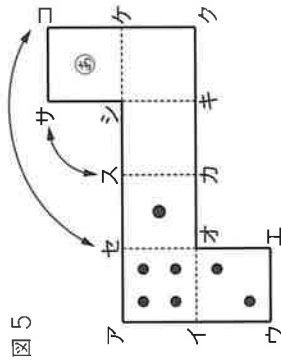


図5

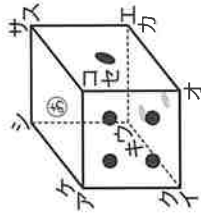


図6

- (2)① たて3cm, 横8cmの長方形の面が2つ, たて5cm, 横3cmの長方形の面が2つ, たて5cm, 横8cmの長方形の面が2つあるから,  
 $3 \times 8 \times 2 + 5 \times 3 \times 2 + 5 \times 8 \times 2 = 158(\text{cm}^2)$

- ② 展開図の等しい辺に同じ印をつけると、図7

右の図7のようになります。

直方体のたて、横、高さはそれぞれ3cm, 8cm, 5cmだから、図7のキクの長さは3cmになります。

$$\text{アイ} = 3 + 8 + 3 = 14(\text{cm}),$$

$$\text{アエ} = 3 + 5 + 3 + 5 = 16(\text{cm})\text{より},$$

長方形アイウエのまわりの長さは、 $14 \times 2 + 16 \times 2 = 60(\text{cm})$

- 6 (1) たてのじくは、 $80-70=10(\text{人})$ を5目もりで表しているから、1目もりは、 $10 \div 5 = 2(\text{人})$ を表します。日曜日の子どもの人数は90人と1目もりで、 $90 \div 2 = 92(\text{人})$

- (2) グラフの線のかたむきが最も急なところが、変わり方が最も大きかったところです。右下がりで最も急なのは月曜日で8目もり、右上がりでも最も急なのは金曜日で10目もりだから、変わり方が最も大きかったのは金曜日です。

- (3) 大人を表すグラフの点が子どもを表すグラフの点より上にある曜日で、日曜日、月曜日、木曜日、土曜日の4回です。

- (4) 同じ曜日で、大人を表すグラフの点と子どもを表すグラフの点が最もはなれてる曜日を見つめます。あてはまる曜日は水曜日で4目もり半はなれています。

1目もりは2人を表すから、半目もりは、 $2 \div 2 = 1(\text{人})$ を表します。

よって、差は、 $2 \times 4 + 1 = 9(\text{人})$

\*水曜日の子どもの入園者数は82人、大人の入園者数は73人だから、

$$82 - 73 = 9(\text{人})\text{と求めてもよいです。}$$

- 7 表に、ア～エのシールをもった人数を表すらんを( )として、わかっている人数をかきこむと、下のようになります。

形	色				合計
	丸	白	赤		
丸	ア	7	ウ	カ	
四角	イ		エ	キ	
合計	ク	19	ケ	コ	

- (1) イのシールをもった人数は、表のイのらんにあてはまる人数で、 $19 - 7 = 12(\text{人})$

- (2) 赤いシールのチームの人数は表のケにあてはまる人数です。

表のイが12人だから、表のキ(四角いシールのチームの人数)は、

$$12 + 5 = 17(\text{人})\text{です。表のカ(丸いシールのチームの人数)はキよりも2人少ないから、カ} = 17 - 2 = 15(\text{人})\text{です。}$$

$$\text{コ} = \text{カ} + \text{キ} = 15 + 17 = 32(\text{人})\text{より},$$

$$\text{ケ} = \text{コ} - \text{ク} = 32 - 19 = 13(\text{人})$$

$$\text{*ウ} = \text{カー} - \text{ア} = 15 - 7 = 8(\text{人})\text{より}, \text{ケ} = \text{ウ} + \text{エ} = 8 + 5 = 13(\text{人})\text{と求めてもよいです。}$$



# 国語解答

<b>1</b> <small>小計</small> 2点 <small>／</small> ( ) × ( )	(5) 養 う (6) 輪投 げ (7) 季節	(1) ころみる (2) み たす (3) しかく	(8) 倉庫 (4) けっしゅう
<b>2</b> <small>小計</small> 2点 <small>／</small> ( ) × ( )	(5) 暑 い (6) 熱 い (17) 期待 (18) 機体 (19) 天候 (20) 熱 (21) 欠 (22) 冷 (23) 軽	(1) 低 (2) 欠 (3) 冷 (4) 軽 (11) 軽 (12) 軽 (13) 熱 (14) 機体 (15) 期待 (16) 機体 (17) 天候 (18) 熱 (19) 期待 (20) 熱 (21) 欠 (22) 冷 (23) 軽	(1) 漢字以外不可 (2) 漢字以外不可
<b>3</b> <small>小計</small> 3点 <small>／</small> ( ) × ( )	(3) 行きます (4) 外しません (25) 行きます (26) 外しません (27) 飲みます (28) パソコンでした	(1) は (2) を (3) の (4) と (29) は (30) 外しません (31) 飲みます (32) パソコンでした	(2) 完答。ひらがな以外不可 (3) 表記はひらがな・漢字を問わない
<b>4</b> <small>小計</small> 4点 <small>／</small> ( ) × ( ) 減点	(9) 特有の意味がこもっている (10) 書きぬき (11) 書きぬき (12) 書きぬき (13) 書きぬき (14) 書きぬき (15) 書きぬき (16) 書きぬき (17) 書きぬき (18) 書きぬき (19) 書きぬき (20) 書きぬき (21) 書きぬき (22) 書きぬき (23) 書きぬき (24) 書きぬき (25) 書きぬき (26) 書きぬき (27) 書きぬき (28) 書きぬき (29) 書きぬき (30) 書きぬき (31) 書きぬき (32) 書きぬき (33) 書きぬき (34) 書きぬき (35) 書きぬき (36) 書きぬき (37) 書きぬき (38) 書きぬき (39) 書きぬき (40) 書きぬき (41) 書きぬき (42) 書きぬき (43) 書きぬき (44) 書きぬき (45) 書きぬき (46) 書きぬき (47) 書きぬき (48) 書きぬき (49) 書きぬき (50) 書きぬき (51) 書きぬき (52) 書きぬき (53) 書きぬき (54) 書きぬき (55) 書きぬき (56) 書きぬき (57) 書きぬき (58) 書きぬき (59) 書きぬき (60) 書きぬき (61) 書きぬき (62) 書きぬき (63) 書きぬき (64) 書きぬき (65) 書きぬき (66) 書きぬき (67) 書きぬき (68) 書きぬき (69) 書きぬき (70) 書きぬき (71) 書きぬき (72) 書きぬき (73) 書きぬき (74) 書きぬき (75) 書きぬき (76) 書きぬき (77) 書きぬき (78) 書きぬき (79) 書きぬき (80) 書きぬき (81) 書きぬき (82) 書きぬき (83) 書きぬき (84) 書きぬき (85) 書きぬき (86) 書きぬき (87) 書きぬき (88) 書きぬき (89) 書きぬき (90) 書きぬき (91) 書きぬき (92) 書きぬき (93) 書きぬき (94) 書きぬき (95) 書きぬき (96) 書きぬき (97) 書きぬき (98) 書きぬき (99) 書きぬき (100) 書きぬき	(1) 将来の夢は宇宙飛行士だと (2) 文に書いたこと (3) ちよつと苦手 (4) 書きぬき (5) 書きぬき (6) 書きぬき (7) 書きぬき (8) 書きぬき (9) 書きぬき (10) 書きぬき (11) 書きぬき (12) 書きぬき (13) 書きぬき (14) 書きぬき (15) 書きぬき (16) 書きぬき (17) 書きぬき (18) 書きぬき (19) 書きぬき (20) 書きぬき (21) 書きぬき (22) 書きぬき (23) 書きぬき (24) 書きぬき (25) 書きぬき (26) 書きぬき (27) 書きぬき (28) 書きぬき (29) 書きぬき (30) 書きぬき (31) 書きぬき (32) 書きぬき (33) 書きぬき (34) 書きぬき (35) 書きぬき (36) 書きぬき (37) 書きぬき (38) 書きぬき (39) 書きぬき (40) 書きぬき (41) 書きぬき (42) 書きぬき (43) 書きぬき (44) 書きぬき (45) 書きぬき (46) 書きぬき (47) 書きぬき (48) 書きぬき (49) 書きぬき (50) 書きぬき (51) 書きぬき (52) 書きぬき (53) 書きぬき (54) 書きぬき (55) 書きぬき (56) 書きぬき (57) 書きぬき (58) 書きぬき (59) 書きぬき (60) 書きぬき (61) 書きぬき (62) 書きぬき (63) 書きぬき (64) 書きぬき (65) 書きぬき (66) 書きぬき (67) 書きぬき (68) 書きぬき (69) 書きぬき (70) 書きぬき (71) 書きぬき (72) 書きぬき (73) 書きぬき (74) 書きぬき (75) 書きぬき (76) 書きぬき (77) 書きぬき (78) 書きぬき (79) 書きぬき (80) 書きぬき (81) 書きぬき (82) 書きぬき (83) 書きぬき (84) 書きぬき (85) 書きぬき (86) 書きぬき (87) 書きぬき (88) 書きぬき (89) 書きぬき (90) 書きぬき (91) 書きぬき (92) 書きぬき (93) 書きぬき (94) 書きぬき (95) 書きぬき (96) 書きぬき (97) 書きぬき (98) 書きぬき (99) 書きぬき (100) 書きぬき	(7) (別例) 「書き初めて四字熟語を書いてくる宿題。」 ・「四字熟語を書く」にあたる内容がないものは0点。 ・「書き初めて、書き初めの用紙に」にあたる内容がないものは-2点。 ・「(四字熟語を) 選んで(書く)」の有無は問わない。

(3) ① (別例) 「作文で将来宇宙飛行士になりたい」と書いたこと。  
 ・「夢は宇宙飛行士だ・宇宙飛行士になりたい」にあたる内容がないものは0点。  
 ・「作文に書いた」にあたる内容がないものは-2点。  
 ・「将来(の夢)」の有無は問わない。

# 解説

## 1 漢字の読み書き

### 2 反対の意味をもつ漢字／同じ読み方をする漢字

(1) それぞれ、反対の意味の漢字を組み合わせたことばで覚えておくとうよいでしょう。①は「高低」、②は「出欠」、④は「軽重」ということば(熟語)があります。

(2) ⑤・⑥「暑い」は気温が高い場合、「熱い」は物体の温度が高い場合に使います。

### 3 呼応することば／「てにをは」／文末表現

(1) 呼応することばについての問題です。①は「あるいははくかもしれない」、②は「まさかろくない」、③は「もしくなら」と、決まったことばどうしが結びつくので、組み合わせを覚えておきましょう。①の「あるいは」は、「えんぴつ、あるいはシャーペンで書いてください」のように使う場合とは意味が変わることに注意しましょう。

(3) ことばをていねいな形にする文末表現として「です・ます・ございます」があります。ていねいな形のことばで過去を表すときには、「でした・ました・ございました」となります。④のように否定の過去形にするときは、「はずしませんでした」となります。「はずさなかつたです」としないように注意しましょう。

### 4 物語(本田有明「願いがかなうふしきな日記 光平の新たな挑戦」より)

(1) スミス先生のあいさつに返事をした人はだれかと考えます。このあとに「スミス先生の相手は、岩崎修斗くんだった」とあります。

(2) 静かな様子を表すことばとして「しんと」を選びます。「げっそりと」は急にやせる様子、「ざわざわと」は大勢の人が集まってざわつている様子、「どんよりと」は空がくもっている様子や、空気や水などがにごっている様子を表します。

(3) 「ぼく」と岩崎くんは、将来の夢は宇宙飛行士だと作文に書きましたが、いかにも宇宙飛行士を目指すことが似合いそうな岩崎くんとはちがって、「ぼく」はみんなから笑われてしまいます。そのような出来事から、「ぼく」は岩崎くんを「ちよつと苦手」だと感じています。

(4) ぼう線③の直後に「不意打ちみたいな感じ」とあることから、「ぼく」はスミス先生にとつぜん話しかけられておどろいていることがわかります。そして、「習った単語が、いいかげんに口から出た」のです。

(5) このときスミス先生が言った言葉に注目します。「わたしのことをこわがらないで。楽しく英語を勉強しよう」と言っていることから、「外国人が相手だからといって緊張しないで、楽しめばいいんだよ」ということをスミス先生が伝えようとしていると考えられます。

(6) ぼう線⑤の少しあとに、「三学期の目標? まだなにも考えていなかった。ほかの子たちは、どうなんだろう」とあり、イの内容と合っています。エは「ほかの子に負けないようにがんばろうと意気込む」がふさわしくありません。

(7) 集められた書き初めの用紙に、何が書かれていたのかを読み取りましょう。

(8) 先生は単なる四文字の熟語と四字熟語のちがいで、古くから使われていて「特有の意味がこもっている」かどうかということを説明しています。

(9) 本文の最後の「だったらぼくが、『一日一歩』の歴史を作ればいいんだ。始めはがっかりしただけ、ぼくは少し前向きな気持ちになった」と、イの内容が合っています。アのような「ぼく」の岩崎くんに対する気持ちは本文中に書かれていません。ウは「日本語の伝統や歴史に興味を持つすがた」は本文中から読み取れません。エは「おばあちゃんとの楽しい思い出を否定された」と「ぼく」が思ったかどうかは本文中から読み取れません。